



平成14年8月6日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所2号機の定常運転再開について（第12回定期検査）

当社、敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉：定格出力116万キロワット）は、平成14年6月11日から第12回定期検査を実施し、本年7月9日より定期検査の最終段階である調整運転に入っておりましたが、本日、経済産業省の最終検査を受けて定常運転を再開致しました。

なお、敦賀発電所2号機は、調整運転中の7月15日より、定格熱出力一定運転注1を実施しております。

注1) 定格熱出力一定運転とは：

定格熱出力一定運転とは、原子炉で発生する熱（原子炉熱出力）を原子炉設置許可で認められた最大値である定格熱出力で一定に保って運転する方法であり、冬季のように海水温度が低い時期には発電効率が良くなり、従来の定格電気出力一定運転に比べ、発生する電気が増加する運転方式です。

以 上